
ぽけもんにっき

W a i

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ぽけもんにつき

【Nコード】

N1365U

【作者名】

W a i

【あらすじ】

これはとある少年の、旅の物語……の、日記のお話。

普段無口な少年の心の葛藤と、波乱万丈な旅の思い出、旅で生まれる恋物語、少年の暗い過去、ポケモンとの絆、悪の組織との戦い……を綴った1冊の日記帳の中身。

——少年はポケモンと共に歩き出す。

——夢を、目指して……！

1 ページ目（前書き）

息抜きに書いてみた。
後悔はしてない。

読んでいただいた方全員に感謝を……。

1 ページ目

○月×日

悪夢を見た……なんか自分の設定を決める夢を見た……しかもオードが出てきた……夢でよかった。

さて、今日は俺が旅に出る日だ。せっかくなので日記を書きたいと思う。

まずは自己紹介……俺の名前はレッド。断じて俺の名を和訳してちゃん付けするなよ？絶対するなよ！

将来の夢はポケモンマスター……というか、ポケモンマスターって職業なのかな？給料とかどうなんだろうね？

自己紹介はこれぐらいにして、旅の準備をしたいと思う。

てか、実際10歳で一人旅とかどうよ？常識的に考えてありえないか？

まだ遊びたい盛りなのに……パソコンで二〇二〇動画観たいのに

……

ってあれ？なんかパソコンになんかある……なんだろう？

き、キズぐすり……だと？俺はこんなの入れた覚えはないのに……
まあ、いいか貰ったところ。

キズぐすりをリュックに入れ、トレードマークの赤い帽子を被って自室から出る。

そのまま玄関に向かう。母親がいるが、いつてきますとは言わない。

なぜなら、何回話しかけても最近と同じことしか話さないからだ。

……ポケたかな？

外に出ると太陽の光が俺を歓迎するように蝕んでゆく……。ま、眩しい……。何日ぶりに外に出ただろうか……。最近部屋に閉じこもってばかりだったからなあ。

外に出たのはいいが、どこに向かえばいいのか分からない。

なんとなく北に行けといい電波を受信したので北に向かう。

うわぁ……。この先草むらじゃん……。俺ポケモン持っていないってえ……。明らかに死亡フラグやん。

いや、でもゆっくりこっそり歩けばポケモンは出ないかも……。？

……。こっそり、ゆっくり……。

その瞬間、後ろから呼ばれてびっくりし、「うひゃん!」……。っという声が出そうなのを我慢した。

誰やねん、と思いつつ後ろを振り向くとオーキドが歩いてきた。

つてちよい待ち！今どつから来た！？明らかに俺んちの裏口から来たよな！？

オーキドに問いただそうとしたが、ごちゃごちゃと言った後、着いてこいと歩き出した。

おい、待てや逃げんなや……おい、こら……どうして服が乱れる？どうしてズボンのチャックが開いている？どうしてそんなに急いでる？

と、いう気持ちを目で訴えると、だらだらと冷や汗を流していた。

なんやかんやあつてオーキド研究所に連れてかれた。

なんか隣にいるけど、気にしない。なんかこつちを睨んでるけど、絶対気にしない。気にしないったら気にしない。

オーキドの長い話が終わり、ポケモンを貰えることになった。

なんか隣の奴から先に選んでいいと言われたので、お言葉に甘えるところ。

・炎タイプのヒトカゲ。

尻尾に火がついてる。熱くないのか？もしかして……M？

・水タイプのゼニガメ。

亀ってwww亀ってwww。

・草タイプのフシギダネ。

ビジュアル的なぁ……カエルはちょっと……ねえ？

・結果。
全部ヤダ。

なので、他にいないかと言ったところ、なんともう1匹いるらしい。

・電気タイプのピカチュウ。

これが世界の人気ネズミの一角、ピカチュウか……可愛いな……可愛いな。大事なことなので2回書きました。

というわけで、即決定。俺の相棒は、ピカチュウだ！

ピカチュウは嬉しそうにし、俺の頭に肩車のようにしてしがみついた。

「ぴっか〜」とか「ちゃあ〜」とか鳴いて俺に頬擦りをしてくる……マジカワユス。

ニックネームを付けるか言われた……ニックネームか……大事だからよく考えよう……。

……よし、決まった。お前の名前は……！

「ミッオー」

「え？」 ↑ オーキド

「え？」 ↑ 隣の奴

「え？」 ↑ ミッオー（仮）

「……え？」 ↑ 俺

なにそれこわい。

ピカチュウは流石に嫌だったらしく、涙目でこちらを見てきたので、ニックネームは付けないことにした。

隣の奴……グリーン（仮）は偉そうに1匹のポケモンを選んだ。

オーキドの話は終わったらしく、帰っていいそうなので研究所を出る。

……はすだったのに、グリーン（仮）に止められ、バトルするこ
とになった。

相手のポケモンは……ゼニガメ。てか、カWWWメWWWかWWW

WよW W W！

吹きそうになったのでさっさと終わらせようとしたら、ピカチュウは俺の指示なしで動き出した。

先制攻撃のでんこうせっか。そしてでんきショック。

綺麗に決まり、ゼニガメは倒れた。

……あれ？

賞金として、80円貰った。

……あれ？

……あれえ？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1365u/>

ぽけもんにつき

2011年10月8日22時01分発行